

以心伝心(いしんでんしん)

亀岡市立東輝中学校 2 年学年通信
学年主任：瀬野 光照 第 2 号
令和 4 年 7 月 19 日 (火)

1 学期を終えて。この先の未来は、今の習慣で決まる。 1 学期

が終了しました。2 年生は昨年度よりも「進化」するというテーマを持ってスタートしました。以下の 7 つが 1 学期当初に学年集会で提示した内容です。

- 1 自ら進んで目を見てあいさつをする＝「社会性の向上」
- 2 時間、約束を守る＝「信頼」
- 3 思いやりの心と支え合う心を大切にする＝「仲間力」
- 4 正しい判断と正しい行動＝「一つ止まる」
- 5 3S(整理・整頓・清掃)の徹底
- 6 一人一役から一人一躍
- 7 「志」作文→「進路実現」 こつこつが勝つためのこつ

振り返ってみてどうですか？「進化」できましたか？

本当に大切なものは目に見えない。みなさんから教わったことです。相手に感謝する心も、相手を思いやる心も、目には見えません。でも現代社会では目に見えるものばかりが大切にされ重要視されているのではないかと思います。もちろんそれも素晴らしいけど、本当に大切にすべきことを見失うと、暗いトンネルの中を進み続けることになります。感謝の心を忘れるとその瞬間から幸せを手放すことになるのではないかと思います。みなさんからたくさんの温かさを感じることができました。昨年度以上に周りに配慮できるような姿、進んで手伝ってくれる姿、仲間を思いやる姿、6 月 1 日の校外学習の延期をみなさんに伝えた時、「延期やったら休んでいる人もみんなで行けるやん」と言ってくれたことにどれだけ救われたか。本当にありがとうございます。みなさんには目には見えない「温かさ」を教えてもらいました。目には見えないものを大切にするこで、目の前にいる人を大切にするこができます。**本当に美しいものは目で見えるものではなく、目では見えない心です。**

さて中学校生活 3 年間とは本当に大切です。この 3 年間が社会に出たときの基盤になる

と先生は思っています。だからこそ、規律・ルールを守るということも大切にしています。“私だけ、僕だけいいか”“ばれなかったらいいか”“誰にも迷惑かかってないいいか”という考えや嘘をついたり、人を騙したりすることが大人になっても自分から抜けず、犯罪につながるような行動になったり、自分がルールを破っていることに気づかず、周りの人に迷惑をかけてしまう人間になってしまいます。あいさつや準備すること、時間を守ること、提出物をしっかり出すことも今からやっておかないと大人になってから急にはできないことだと思います。子どもの頃の習慣が必ず大人になって出ます。だからこそ今、習慣を作る時間があると思います。

充実していた校外学習！！



1年時の3月15日に開催予定だった校外学習に、7月1日（金）ようやく実施出来ました。延期に延期を重ね、実施できた校外学習ではみなさんのたくさんの笑顔に出会うことができました。当日は35℃を超える猛暑日となり非常に暑く、熱中症なども心配されましたが、そのような状況の中でもみなさんはしっかりと行動をしました。行の集合場所はJR亀岡駅。いつもと違う時間に、いつもと違う場所、いつもと違う集合の仕方でしたが遅れずに集合出来ました。電車内では、一般の方に配慮したり、年配の方に席を譲ったり、一般の方の話に耳を傾け会話をするなどみなさんの温かさがありました。迷ったときには本部へ連絡し、行程変更をせざる得ないときにも連絡し、京都駅の集合に遅れそうな時にもしっかり連絡し、みなさんへの信頼感が高まりました。バスや電車に乗り間違えたり、道に迷ったりもありましたが、スマートフォンなしに一般の方に聞いたり、自ら足を動かし調べたり、事前準備から仲間と協力して計画を立てたり、仲間と協力して困難を乗り越えていくということは本当に大切なことであり、本当にかけがえのないものでありみなさんの社会性と仲間力向上に繋がります。京都駅に帰ってきたときに、「先生、疲れしました。」「先生、うまくいきませんでした。」と声をかけてくれる人がいました。**疲れたのは、頑張った証拠です。うまくいかなかったのは、本気で取り組んだ証拠です。**この経験を大切に、また日常生活に生かしていきましょう。お疲れ様。

画を立てたり、仲間と協力して困難を乗り越えていくということは本当に大切なことであり、本当にかけがえのないものでありみなさんの社会性と仲間力向上に繋がります。京都駅に帰ってきたときに、「先生、疲れしました。」「先生、うまくいきませんでした。」と声をかけてくれる人がいました。**疲れたのは、頑張った証拠です。うまくいかなかったのは、本気で取り組んだ証拠です。**この経験を大切に、また日常生活に生かしていきましょう。お疲れ様。